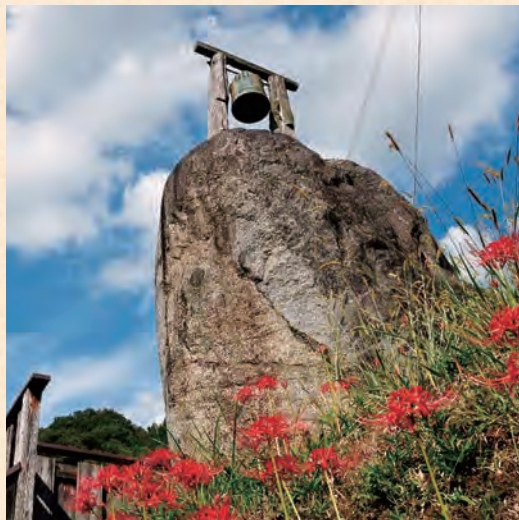


記紀・万葉故地

いにしへの愛と
祈りの道づく古里

忍阪



じんごいし
神籠石

まちづくりマップ

石位寺の優美な「伝 薬師三尊石佛」

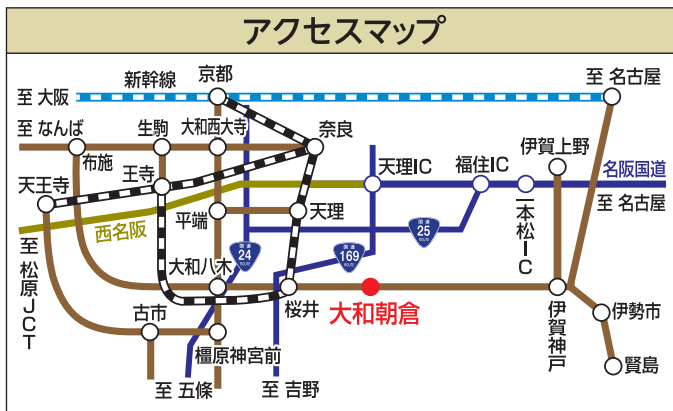
石位寺にあるのが白鳳時代の石彫三尊像で、国の重要文化財である「伝 薬師三尊石佛」です。

丸みを帯びた三角状の砂岩に柔らかな微笑みを浮かべる三尊が浮き彫りされており、唇や法衣、蓮華座に朱が施されているのがみとれます。遠近法による奥行きのある表現など高度な技術を持つ一流の石工の手によって作られたことが推測され、日本の石仏史の第1ページを飾る白鳳時代の名品といわれています。

一説には、この石仏が当初は忍阪からほど近い栗原寺にあって、額田王の念持仏だったという伝承があります。この栗原寺は出土した三重塔露盤の伏鉢の銘文により、天武天皇に仕えた仲臣朝臣大嶋が草壁皇子の命を弔って発願し、その遺志を引き継いだ比売朝臣額田によって和銅八年(715年)に建立されたことがわかっています。この比売朝臣額田を額田王とする学説もあり、伝承にあるようにこの石仏が額田王の念持仏であったとするならば、川の流れのように忍阪の石位寺に辿り着き、今、皆様への祈りと共に微笑みの石仏となって悠久の時の中で語りかけてくれているのではないのでしょうか。



拝観を希望される方は下記まで事前に申し込みください。
☆桜井市観光まちづくり課
0744-48-3110



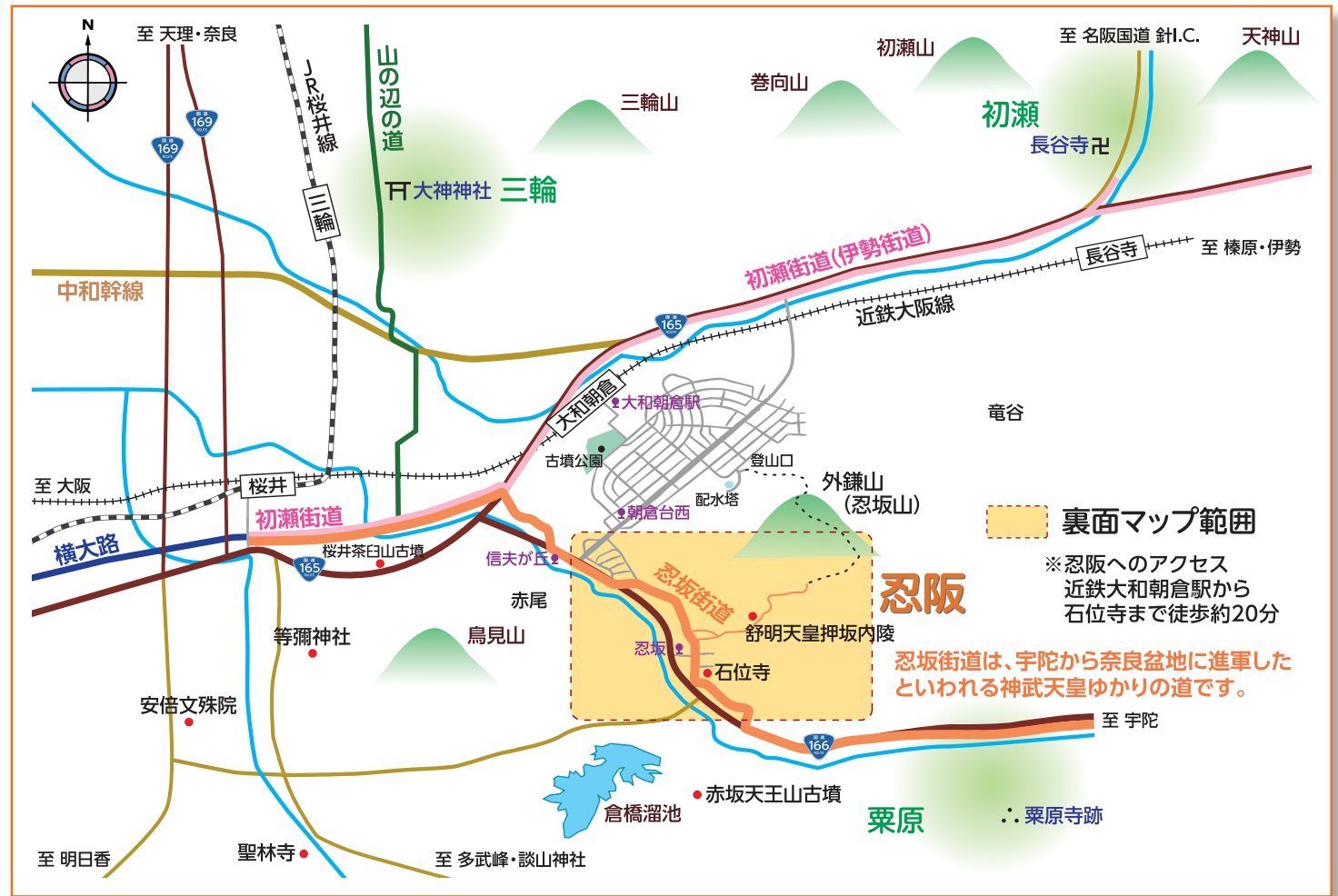
協働によるマップづくり

■奈良県では、地域資源を再発見するため、様々な地域でマップづくりを行っています。平成24年度は「忍阪(桜井市)」と「福住(天理市)」で作成しました。他の地区のマップも是非ご覧ください。

奈良県まちづくりマップ 検索

■このマップは、「忍阪区」と「なら・まちづくりコンシェルジュ(奈良県)」が協働で作成しました。
■平成25年(2013年)3月発行 平成26年(2014年)3月増刷
平成31年(2019年)3月第2版
■問い合わせ先:
忍阪区(ホームページ 「忍阪の風」で検索)
(桜井市観光まちづくり課 TEL 0744-48-3110)
奈良県地域デザイン推進課 (TEL 0742-27-5433)

忍阪周辺の歴史街道



忍阪の歴史と風土

万葉集に詠われる忍坂山(外鎌山)山麓の古道「忍坂街道」沿いに広がる忍阪は、記紀(古事記・日本書紀)の神武東征の際に「忍坂の大宝」として登場し、和歌山県橋本市の隅田八幡宮所蔵の国宝・人物画像鏡に「意柴沙加宮」と金石文で刻まれていることでも知られるヤマト政権を支えた重要拠点とされています。

旧街道の周辺には古い町並みが残り、日本初の八角墳で知られる舒明天皇陵、また額田王の姉とも言われ藤原鎌足の正室となった鏡王女墓など、歴史深き風土の中にあります。

允恭天皇皇后の忍坂大中姫の宮殿があったとの伝承がありますが、発掘調査される機会がなく、未だおしさか宮跡は発見されていません。いつかその機会がくれば、その宮殿跡が見つかるかも知れません。



忍阪区民は、この「忍坂山」を宮山として、毎日手を合わせてあがめています。いにしえからの尊き山です。



忍阪を訪れた文人たち

万葉学者の犬養孝が、著書「万葉とともに」でも奥の谷の景観を「将来はわからないにしても、せめてこの山ぶところの静けさだけでも、この国の未来にかけてこのまま残ってほしいものである」と評され、その景観は今も忍阪区民の手で大切に守られています。

また、桜井市出身の日本浪漫派のリーダーとして名を成した文芸評論家の保田與重郎は自身の短編に、石位寺の三尊石仏を額田王の念持仏ではないかとの考えを示し幅広く世間に紹介しました。作家の川端康成も「ほのぼのとした暖かいものがある、美少女といった感じでもあろうか」と評しました。

他にも作家の佐藤春夫、井上靖、随筆家の岡部伊都子、俳人の山口誓子、星野立子、水原秋桜子などが訪れています。

また、写真家の入江泰吉は、たびたび忍阪を訪れ数多くの名作を残しています。

『押坂の古川岸のねこやなぎ
ぬれてやさしき春の雪かな』
(木丹木母集・保田與重郎)



佐藤春夫氏(昭和39年)

① 忍坂坐生根神社

忍坂にいますいくねじんじゃ
忍坂坐生根神社
三輪の大神神社と同様に本殿がなく、後方の宮山(忍坂山の一部)をご神体とした古社で少彦名命と額田部氏の祖・天津彦根命を祀っています。拝殿北には神が鎮座するといわれる磐座があり、石神さんとよばれています。

例祭は毎年10月中旬に開催されるほか、忍坂区の住民が交代で毎日絶えることなく、御灯明をあげています。



狛犬の親子
拝殿の前で佇む



② 玉津島明神

祭神は稚日女尊と衣通姫尊です。衣通姫尊は絶世の美女で、この地で生まれたと伝えられ、この井戸の水を座湯に使うと美人になるという言い伝えが忍坂区に残っています。



③ 万葉歌碑

万葉学者の犬養孝揮毫による鏡王女万葉歌碑が舒明天皇陵の横を流れる小川のほとりに、ひっそりと建っています。

秋山の
樹の下隠り
逝く水の
吾れこそ益さめ
御思ひよりは
(巻2-92)



④ 神籠石

地元ではちご石と呼んでいます。神武東征の時、天皇がこの地にいた八十建を討つとき、この石に隠れ石垣をめぐらし矢を持ち桶とした大石という伝説を持つ謎の大石です。



⑤ 高円山 石位寺

白鳳時代の石造浮彫『伝 薬師三尊石佛』(国重要文化財)が安置されています。無住寺ですが、忍坂区の住民の手によって大切に守られています。

ちょっとした高台にあるので、ここから周辺の棚田や田園風景が楽しめます。



近鉄大和朝倉駅
まで約550m
(徒歩約10分)

古墳公園

少し北に行ったところに忍坂から移設された古墳群があります。六角形石室構造が珍しいです。



8号墳

9号墳

忍坂大室屋跡は
このあたりか？

至 桜井市街

忍坂

忍坂山口坐神社

忍坂街道

栗原川
(忍坂川)

忍坂バス停

バス専用

ことうしんどう
庚申堂

石位寺

忍坂東

至 明日香村
談山神社方面

至 宇陀市

忍坂道伝承地の碑

■マップの見方

道標

ビューポイント

バス停

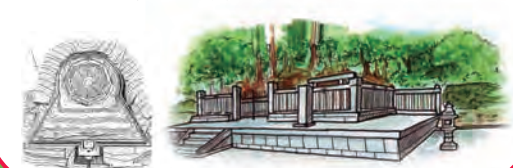
歌碑

駐車場

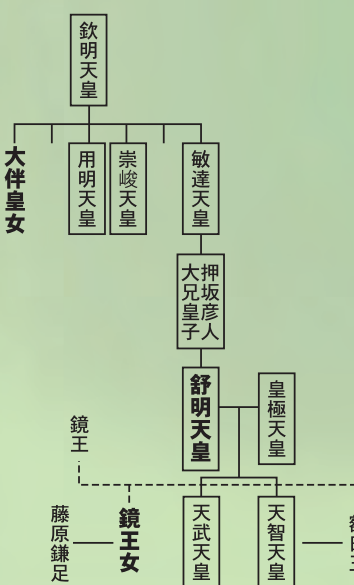
トイレ

⑥ 舒明天皇押坂内陵

第34代舒明天皇と母親の田村皇女が合葬されています。従来、上円下方墳とされてきましたが近年の調査で我が国初の八角墳と確認されています。



◆ 鏡王女に関する家系図は、以下だろうといわれています。



⑥ 舒明天皇押坂内陵

⑦ 鏡王女押坂墓



川のせせらぎ音が
心地いい

山あいを
抜けると

A 時が止まったような奥の谷



外鎌山
山頂まで
徒歩 30分

⑧ 大伴皇女押坂内墓



⑧ 大伴皇女押坂内墓

日本書紀では、大伴皇女は欽明天皇の皇女で古事記には大伴王と記されています。延喜式には押坂内墓と記録されています。この場所から多武峰や音羽山(倉橋山)など素晴らしい景観が望めます。

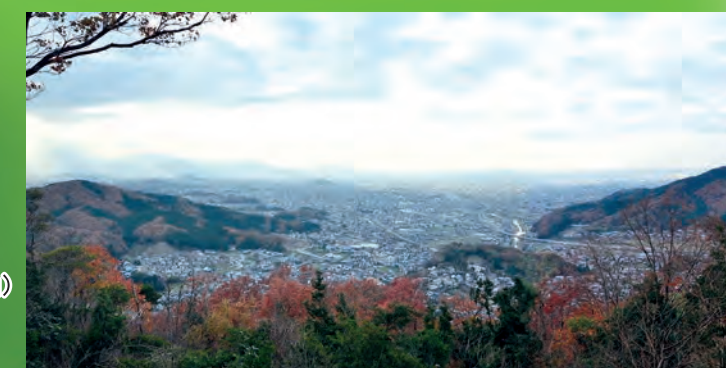


イラスト: Junko.M

外鎌山
(忍坂山)

B

B 大和三山が一望できる外鎌山からの絶景



外鎌山は、万葉集の巻13-3331で「忍坂の山」として、次のように詠われています。
こもりく はつせ あおはた おさか
「隠口の 泊瀬の山 青幡の 忍坂の山は
走り出の よろしき山の出立の
くわしき山ぞ あたらしき山の
荒れまく惜しも」